

ASPO について

バックグラウンド

コリン J. キャンベル:

ASPO はドイツで始まりました。2000 年の 12 月 7 日、ハルツ山脈のクラウスタルに古くからある大学で、石油減耗について講演する機会がありました。この件に関心がある科学者のネットワークか団体を発足するというアイデアがうまれたのです。翌日、その旨をハノーバーの BGR (ドイツ連邦地球科学・天然資源研究所)の所長のウェルマー教授に伝え、支持を得ました。ノルウェー、そしてスウェーデンがそこに加わりました。今日 ASPO には、ヨーロッパの大半の国が参加しています。

その後、2002 年 5 月にウプサラで、アレクレット教授の企画による石油減耗に関する最初の国際ワークショップが開催され、パリとベルリンでのワークショップがそれに続きました。

ASPO は、非常に限られた予算で運営されている非公式のネットワークですが、ウプサラのウェブサイトのお陰もあり、発言力があります。この非公式の組織体制が強みなのでしょう。大半の組織が面するような政治的、法的、営利的なしがらみにとらわれずに、本音が言えるということです。もちろん、石油減耗の問題は慎重に扱われるべきであり、恐らく現代社会が直面している最も重要な問題でしょう。

組織図

